

道徳科学習指導案

主題名「広い心をもって」〔学指要領：B 相互理解、寛容〕

令和6年11月22日（金） 第3校時 4年2組教室
大泉町立東小学校 4年2組 指導者 橋本 優美

I 主題設定の理由

1 価値観

人の考えや意見は多様であり、それが豊かな社会をつくる原動力にもなる。そのためには、多様さを相互に認め合い理解しながら高め合う関係を築くことが大切である。

この時期の児童は、自他の立場や感じ方、考え方などの違いをおおむね理解できるようになるが、ともすると違いを受け止められずに感情的になったり、それらの違いから対立が生じたりすることも少なくない。望ましい人間関係を構築するためには、自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、自分と異なる意見について、その背景にあるものは何かを考え、傾聴することができるようにすることが必要になる。

また、今後、この内容項目は第5学年及び第6学年において、「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。」へと発展する。

2 児童観

本学級の児童は、自分の考えを伝えるだけではなく相手の意見もよく聞くことが、集団生活の中では大切だと認識できている。しかし、意見がぶつかってしまったときに自分の意見を押し通す児童や、自分の言いたいことを我慢して伝えない児童もいる。その背景には、相手の考えやその理由まできちんと聞くことができていない、認めることができないことや、自分の考えを伝えることで対立してしまうことを避けたいという思いがあると考えられる。しかし、自分の意見を相手に伝えながら、相手の考えを聞き、自分に謙虚になり相手に対して寛容になる心をもつことは、学校生活で互いに心地よく生活するために必要不可欠なことである。

これらのことから、本授業を通して、互いに理解し合い、広い心をもつことでよりよい人間関係を築くことができることに気づかせ、自分と異なる意見も大切にしようとする判断力を育てたい。

<事前アンケートの結果について>

①友達と協力していますか。

している11人、ややしている4人、どちらともいえない2人、ややしていない3人、していない3人

②友達の意見をよく聞いていますか。

している10人、ややしている4人、どちらともいえない2人、ややしていない3人、していない4人

③自分の意見を相手に伝えていきますか。

している6人、ややしている10人、どちらともいえない1人、ややしていない3人、していない3人

④友達と協力できていると感じていますか。

している10人、ややしている7人、どちらともいえない1人、ややしていない1人、していない4人

多くの児童が友達と協力している、意見をよく聞いていると答えた反面、自分の意見を相手に伝えていないと答えた児童はやや少なかった。本授業を通して、意見を伝えることも、友達と協力するために大切なことに気付かせたい。

3 教材観 教材名「学級新聞作り」(出典：ゆたかな心 光文書院)

「わたし」は、新聞係の話し合いの決定を勝手に変えて新聞記事を書いた「黒羽さん」と言い争いをする。「黒羽さん」の勝手な行動は許せないが、彼女のよりよいものをつくろうとする姿勢について考えると、「わたし」は話し合いの決定にこだわる自分が気になり、心が晴れないというあらすじである。

本教材は自分の意見を大切にすぎず人の行動を一方向的に非難したり責めたりすると、互いに気持ちよく生活を続けていくことができないということに気付かせる教材である。「黒羽さん」の真意を理解しようとし、自分の一方向的な非難を反省する謙虚さを示した「わたし」の心情をていねいに押さえることで、自分と異なる意見も大事にすることの大切さに気付くことのできる適切な教材となっている。

II 本時の学習

1 ねらい 「わたし」と「黒羽さん」がどうすれば協力して活動できたかを考える活動を通して、自分の思いを伝えて相手の意見を尊重することの大切さに気づき、理解しようとする判断力を育てる。

2 展開

【★ICT 活用に関する事項】

主な学習活動 主な発問 (◎中心発問 ◇補助発問) 予想される児童(生徒)の意識 [S]	○指導上の留意点
<p>1 本時で扱う道徳的価値について、問題意識をもつ。(7分)</p> <p>S: 意見が違ふとけんかになるときがある。 S: 自分の意見が通らなないと嫌だな。 S: 友達ならゆずることもある。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><めあて> 友達の意見を理解するってどういうことだろう。</p> </div>	<p>○今までの自分たちの様子を振り返ることができるように、アンケートの結果を見せる。【★掲示】</p> <p>○友達と一緒に活動した経験について投げかけ、意見がぶつかってしまった経験を思い出させる。</p> <p>○友達と意見がぶつかってしまったとき、けんかにならないようにしなければならないと頭ではわかっていながらも、できていないことに気付かせ、課題意識をもたせられるようにする。</p>
<p>2 教科書の教材文の範読を聞く。(5分) 【★範読】</p> <p>3 教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する。(13分)</p> <p>S: 「わたし」 リーダーとしてなんとかしたかった。話し合いの決定にこだわりすぎってしまった。 S: 「黒羽さん」 話し合いの決定を勝手に変えてしまった。よい新聞を作ろうとしていた。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◎ 二人はどうすればよかったですか。 S: 相手の意見をちゃんと聞く。 S: 優しく言う。 S: だめって言わないで理由を言う。 S: 「わたし」 はみんなの意見を決めつけないで聞く。 S: 「黒羽さん」 は一人で勝手に決めないでみんなに相談する。</p> </div> <p>4 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについても一度考える。(15分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇ 相手の意見を聞いたり、自分の考えを伝えたりすれば、お互いに理解しあえますか。</p> </div> <p>S: 相手の話をきちんと聞くことが大切だな。 S: 自分の考えも相手にちゃんと伝えた方がいい。言い方も気をつける。</p>	<p>○話の内容が理解できるように、あらかじめ登場人物を確認し、それぞれどんなことを考えていたのかを意識して聞くように促す。</p> <p>○お互いの意見を尊重できなかったことでけんかになってしまったことに気づけるように、登場人物の問題点について考えさせる。</p> <p>○「わたし」と「黒羽さん」の考えには「良い新聞を作りたい」という共通している部分があることが理解できるように、場面絵を用いながら比較して板書する。</p> <p>○自分の考えを伝えるだけでなく相手の意見もきちんと聞くことを大切にできるように、新聞系のメンバーがどうすればよいのかを問いかける。</p> <p>○多面的に考えさせるために、2人だけが悪いのか、周囲の子にできることがあるか問いかける。</p> <p>○互いに理解し合うには、相手の意見を聞くだけでなく、自分の意見もきちんと伝えることが大切だと気付けるように、ゆさぶる質問を投げかける。</p> <p>○児童から出た意見をよりわかりやすく共有するために、役割演技を取り入れる。</p> <p>○教材文から離れて価値について考えられるように、今までに協力した体験を思い出すように促し、自分ではできていたか、どうしたらもっとよい活動ができたかを考えさせる。</p>
<p>5 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えの振り返りをする。(5分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><振り返り> S: 友達と理解し合うには、自分の意見を言いすぎずに相手の意見を聞くべきだと思う。</p> </div>	<p>○振り返りの視点を与えることで、自分ごととして振り返ることができるようにする。</p>

◆評価の視点

・相手に広い心で接し、相手の立場に立って考えることから、「自分と異なる意見も大切にしようとするということについて、自分自身との関わりの中で考えている」姿を見取る。